

5. 研究室の1年

- 4月 新歓・お花見
- 6月 事前研修合宿（1泊2日～2泊3日）
- 8月 3年生ゼミ合宿（6泊7日）・夏フィールドワーク
- 9月 4年生ゼミ合宿（6泊7日）
- 12月 卒業論文提出・忘年会
- 1月 新年会・卒業論文口頭試問
- 2月 春フィールドワーク
- 3月 卒業送別会



事前研修合宿（山梨県小菅村）



夏フィールドワーク
（長崎県五島列島）

6. 研究室の主な関係団体・活動など

特定非営利活動法人里の自然文化共育研究所, <https://sato-ken.org/>

合同会社流域共創研究所だんどり, <http://dan-dori.jp/>

浦戸桂島復興連絡協議会, <https://uratomanabi.com/>

としま案内人駒込・巣鴨, <https://toshima-guide.com/>

にいがた鮭プロジェクト, <https://sakepro.jp/>

NHK 地域づくりアーカイブス, <https://www.nhk.or.jp/chiiki/>

文部科学省社会教育士, https://www.mext.go.jp/a_menu/01_1/08052911/mext_00667.html



NPO 法人里の自然文化共育研究所



浦戸桂島復興連絡協議会



としま案内人駒込・巣鴨

7. 研究室の問合先

出川真也 大正大学地域創生学部地域創生学科専任講師

住 所 〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1 大正大学 3 号館 2 階 329 研究室

電 話 080-7125-8844

メール s_degawa@mail.tais.ac.jp

ウェブ <https://degawaken.com/>

地域創生の教育学

ー地域づくりを担う人々や組織を培う学びと教育を探究するー



学習活動はあらゆる教育活動の中心に位置づけられ、

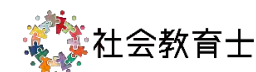
人びとを、なりゆきまかせの客体から、

自らの歴史をつくる主体にかえていくものである

ユネスコ 学習権宣言 1985 より

大正大学 地域創生学部 出川真也研究室

出川真也 教育学者・社会教育士
社会教育・生涯学習論専攻



社会教育士

今日、地域創生は「地域づくり Community Development」から「地域能力開発 Community Capacity Building」が志向される時代になりました。

こうした中で、求められる新たなコミュニティリーダーとは、住民に寄り添いながらその発達に寄与しつつ、自身もまた生涯にわたって学び続けることができる人間であるといえます。それは人々と共に喜び・悩み・探究し続けることができる協働作業者としての学習・教育者像です。

当研究室では、社会教育・生涯学習研究を基盤としながら、「学び」を通じて地域の力を引き出し新たな価値を生み出す「地域創生の教育学」を探究します。



写真上：日本海の離島にて、住民と
踏査活動をする研究室学生



写真右：ゼミ合宿での現地交流

2. 研究室の事業

(1) 地域づくりの教育研究

①地域づくり団体の組織文化と教育研究

地域づくり団体の継承活動を対象に、組織文化と教育・学習観及び教育・学習動機の可視化、組織文化と教育・学習の相互影響関係及び事業継承メカニズムの解明、地域づくり団体の継承支援方法の試行実践に取り組む研究を進めています。

②地域回帰の教育研究

地域担い手人材育成にかかわり、人々が地域へ関心を向ける動機や意欲を「地域回帰志向」として概念化するとともに、その形成過程とその要因に着目した基礎研究に取り組んでいます。

(2) EMIR と教育研究

エンロールメント・マネジメント研究所を拠点にしながら、教育アセスメント（評価）や学修成果の可視化に関する調査分析等にかかわる方法論的研究を行っています。

(3) 学生と教育活動

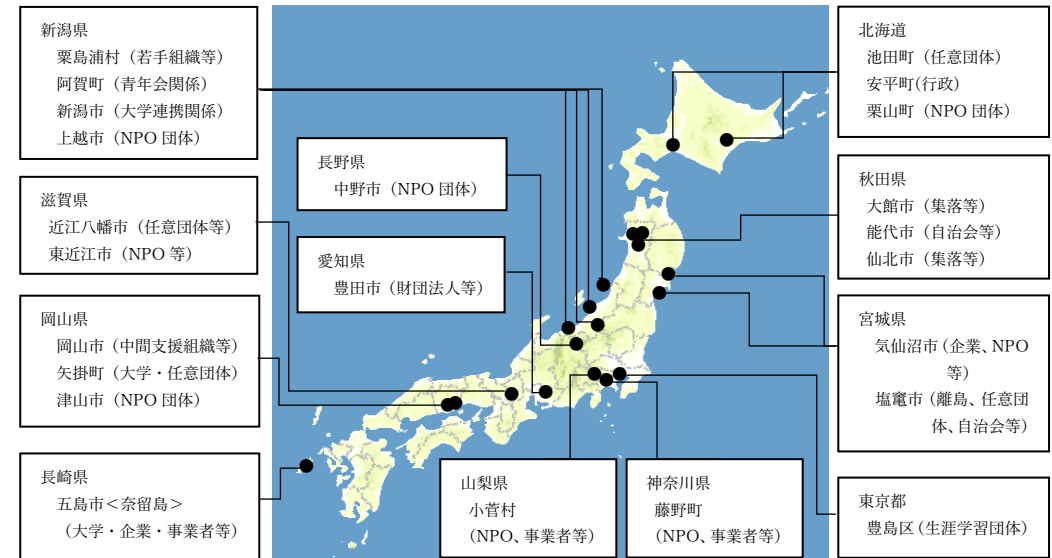
担当ゼミの他、地域教育関連科目、社会教育・生涯学習分野の科目、主宰学生自主研究会等を通じて、地域づくりに寄与する人材育成の教育活動に取り組んでいます。

(4) 地域社会と教育実践

農山漁村から都市部まで、多様な地域の活動者・団体・組織等と連携・協働して教育実践活動に取り組んでいます。NPO 法人等の実践組織の運営にも携わっています。

3. 研究室のフィールド

全国の約 15 カ所を主要フィールドとして研究・教育・実践活動を行っています。



4. 研究室のメンバーとテーマ

阿部雄大「地域資源を活用した教育・学習活動」

鎌田美来「誰もが参加できる福祉のまちづくりと学び」

高梨育臣「継続在住民と移住者が織りなす学びを見つめる-地域の継承と変革を考える-」

並木綾人「進学を契機とする若者の新たな「ターン」による学びが地域にもたらす影響と可能性」

春日れな「里地里山の保全・活用と継承ー狩猟文化とジビエに着目してー」

遠山 陽「アウトドアライフの可能性—人と地域を育てるか?—」

百瀬海翔「滞在と参加は地域の新たな魅力を生み出す力となるか」

伊藤博保「みんなが居心地いいと感じるコミュニティをいかに育てるか」

鈴木雅彦「スポーツによるソーシャルキャピタルの創造可能性」

横山拓巳「スポーツと伝統文化の結びつきがもたらす地域づくりの可能性」

山口昌登「組織的つながりが生み出す学びによる人材育成と地域づくり－プロスポーツとボーイスカウトの教育学習機能－」

江原彩珠「地域に根ざした子育て支援とコミュニティづくり-公園における多様な学びのあり方に着目して-」